

指導計画書

| | |
|-------|---------------------------|
| 時間 | 1時間目（7～8時間目中） |
| 対象 | 私立B高等学校 高校2年生（特進/特進理系コース） |
| 場所 | 情報処理教室 |
| 主題 | HTMLとタグの理解 |
| 資料・用具 | パソコン 『情報A』実教出版 |

1. 目標 HTMLの構造と基本的なタグの理解
2. 指導計画 英語のWebページを作るために基礎的HTMLの習得
3. 展開 日本語で簡単なWebページを制作する。
4. 準備 メモ帳
5. 対象クラス 特進/特進理系コース
6. 使用資料 『情報A』『インターネットⅡ HTML+メール』実教出版など
その他は備考に掲載

| | 学習内容 | 学習指導 | 留意点・資料等 |
|-----------|--|---|--------------------------------|
| 導入 5分 | HTMLの説明 | WebページがHTMLでできていること。 例としてWebページのソースを提示する。 | 教科書のWebページのソースを見せておく。 |
| 展開 40分 | パソコン起動 メモ帳起動 タグの説明 制作 | <HEAD>情報 <TITLE>タイトル <BODY>内容 <H>見出し（大きさの変更） <P>段落 改行 箇条書き <HR>区切り線（太さの変更） <BGCOLOR>背景色変更 文字色変更 （文章は自由） | メモ帳の確認 日本語で制作 |
| まとめ 5分 | サーバに保存 英語でWebページをつくること。 前年度（A校）の作品例示 | 自分の制作したものを保存 課題として英語でWebページをつくることを発表。 | Webページ課題は1人3ページ以上。グループは5人までで制作 |

7. 反省・評価：HTMLとは何か簡単に説明。生徒から表示しないとの質問が多く、そ

(03MF404)

の対処にも追われた。そのため、基本的タグに関して全部説明できなかった。最後に課題の発表。テーマが自由であることへの反応はよいが、英語で制作する点はかなり不安のようである。今後の授業もかなりの時間を要することが予想される。しかし、前年度（私立B高等学校）の作品をいくつか例示すると、不安はある程度解消されたようである。

備考：『30時間マスター インターネット FrontPage Express 編』

『30時間マスター インターネットⅡ HTML+メール』

『30時間でマスター ホームページデザイン』

『30時間でマスター Web デザイン』

『新版情報 A』

『新版情報 B』

『新版情報 C』

『HTML タグ辞典』

『HTML タグ辞典 第5版』

『JavaScript 辞典 第2版』

『スタイルシート辞典 第3版』

指導計画書

| | |
|-------|------------------------------------|
| 時 間 | 2時間目（6～7時間目中） |
| 対 象 | 私立B高等学校 高校2年生（特進/特進理系コース） |
| 場 所 | 情報処理教室 |
| 主 題 | HTMLとタグの理解 グループ、Web ページ決定 翻訳・辞書サイト |
| 資料・用具 | パソコン 『情報A』実教出版 |

1. 目標 HTMLの構造と基本的なタグの理解（1時間目の続き）
2. 指導計画 英語のWeb ページを作るために基礎的HTMLの習得
3. 展開 日本語で簡単なWeb ページを制作する。Web ページ制作のグループとテーマ・内容の決定。翻訳・辞書サイトの紹介
4. 準備 メモ帳
5. 対象クラス 特進/特進理系コース
6. 使用資料 1時間目に同じ

| | 学習内容 | 学習指導 | 留意点・資料等 |
|---------------------------|--|--|---|
| 導 入 10 分 | グループ、Web ページ 決定 | Web ページ制作グループの決定 Web ページテーマの決定 グループ・テーマ決定用紙への記入 | 広いテーマはある 程度絞り込ませ る。 |
| 展 開 35 分 | パソコン起動 メモ帳起動 保存データを開く タグの説明 課題制作 | 画像 リンク 画像は今回インターネットから取 ってこさせる。 | 制作しているもの を最終的に課題に も転用できるよう にする。 |
| ま と め 5 分 | サーバに保存 翻訳・辞書サイトの紹介 | 自分の制作したものを保存 「excite 翻訳」 (http://www.excite.co.jp/world/) など翻訳サイトの紹介 | 翻訳サイトでも正 確には英訳ができ ず、自分で英訳す るべきことを注意 する。 |

7. 反省・評価：生徒からリンクが表示しないとの質問が多く、今回も対処にも追われた。英訳への不安が多いので翻訳・辞書サイトを紹介。不安は解消されたようだ。翻訳サイトですべての英訳を終わらせないために、翻訳サイトのよい翻訳例と悪い翻訳例を提示する。また、辞書・電子辞書の持ち込みを促す。

指 導 計 画 書

| | |
|-------|-------------------------------|
| 時 間 | 3 時間目（7～8 時間目中） |
| 対 象 | 私立 B 高等学校 高校 2 年生（特進/特進理系コース） |
| 場 所 | 情報処理教室 |
| 主 題 | ライティング力調査 Web ページ制作 |
| 資料・用具 | パソコン 『情報 A』 実教出版 |

1. 目標 単語力・ライティング力調査を行う。 Web ページ制作に掛かる。
2. 指導計画 英語の Web ページを作るために基礎的 HTML の習得
3. 展開 個人のライティング力調査を行う。その後グループに分かれ Web ページ制作を始める。
4. 準備 メモ帳
5. 対象クラス 特進/特進理系コース
6. 使用資料 1 時間目に同じ

| | 学習内容 | 学習指導 | 留意点・資料等 |
|---------------------------|-------------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| 導 入 15 分 | 単語力・ライティング力 調査 | 単語力調査 ライティング力調査 | 情報の成績の参考 にはしない。 不正行為の注意 |
| 展 開 30 分 | パソコン起動 メモ帳起動 保存データを開く 課題制作 | グループに分かれての課題制作開 始 | 質問等あれば対処 する。 |
| ま と め 5 分 | サーバに保存 課題による評価の方法・ 提出日の発表 | 成績は課題の完成度・グループ内 評価を参考にする。 | 質問等あれば対処 する。 |

7. 反省・評価：「情報」の授業内での英単語とライティングのテストで生徒はかなり困惑していた。あくまでも「情報」の授業であって「英語」の授業でないことを伝える。英単語とライティングのテスト中に調査であるという意識が薄い生徒が何人いた。課題制作になると、それぞれのグループで作業は順調はじまった。授業中は教室内を回るようにして、グループの作業をしていない生徒や、困っている生徒に声を掛けるようにした。

指導計画書

| | |
|-------|---------------------------|
| 時間 | 4～7時間目（7～8時間目中） |
| 対象 | 私立B高等学校 高校2年生（特進/特進理系コース） |
| 場所 | 情報処理教室 |
| 主題 | Web ページ制作を用いた英作文・課題制作 |
| 資料・用具 | パソコン 『情報A』実教出版 |

1. 目標 課題制作し完成させる。
 発信型英語の自主的学習
 ライティング力の向上
 情報モラル・著作権・自己責任（ネチケット）について理解する。
 ウェブ検索・情報収集力・分析・判断力の向上
 異文化理解・国際理解
2. 指導計画 ライティングを中心とした英語能力向上とコンピュータへの興味と慣れ
 自分の意見をまとめることができる またその意見を英語になおすことができる。
 テーマの背景にある外国との文化的な違いを理解することができる。
 インターネットの翻訳ソフトなどを使うことも認める。
 ウェブ検索した資料を活用して発表資料を作ることができる（著作権も考慮する）。
 質問・添削依頼などがあればする。
 英語に翻訳するときの注意点を指導する。
3. 展開 情報モラル・ネチケットの理解
4. 準備 メモ帳・Internet Explorer
5. 対象クラス 特進/特進理系コース
6. 使用資料 1時間目に同じ

4～7時間目は主に生徒中心の作業となるので一括して表にする。

| | 学習内容 | 学習指導 | 留意点・資料等 |
|----|----------------|----------------------------------|---------------------------|
| 導入 | 情報モラル・ネチケットの理解 | 今後、課題制作に入るので情報モラル・ネチケットについて説明する。 | 教科書の情報モラル・ネチケットについて見せておく。 |

| | 学習内容 | 学習指導 | 留意点・資料等 |
|-------------|---|--|--|
| 展開 3～5時間 | <p>パソコン起動 メモ帳起動 保存データを開く タグ参考プリント配布</p> <p>課題制作</p> <p>発信型英語の自主的学習 ライティング力の向上 ウェブ検索・情報収集力・分析・判断力の向上</p> | <p>「Web ページ制作の基本的なタグ集」</p> <p>そのまま英語で制作するか、日本語で制作してから英訳するか、それぞれで判断させる。</p> <p>情報モラル・著作権・自己責任（ネチケット）について理解する。</p> <p>異文化理解・国際理解 日本を英語圏に伝える Web ページか英語圏のことを日本人に伝える Web ページを制作する。</p> | <p>英作文についての注意事項</p> <p>難しい英語を使う必要はない ウェブのままの英文は、出典を記載 自分の英語を使う 翻訳サイトを活用する。</p> |
| まとめ 1時間 | <p>英語のチェック</p> <p>著作権・情報モラル・ネチケットの確認</p> | <p>かなりおかし英語・失礼にあたる英語はなおす。引用方法</p> <p>著作権侵害・情報モラル、ネチケットに反しているものはチェックする。</p> | <p>みんなで画面を見ながらチェック</p> <p>生徒たちが努力して制作したもので、あまり直さないように心がける。</p> |

7. 反省・評価：A 高校と同じように、著作権・情報モラル・ネチケットに反する作品が多かった。授業内のみの展開にしなければいけない作品が殆どである。公開するのは問題があると考え、学校内のサーバに保存し、生徒間でのみ見られるようにした。しかし、中には著作権などの問題が無い作品もあるので、それらに関しては、今後アップデートを考慮する。また、行事等が多く、授業が抜け、制作に十分な時間が取れなかった。そのため、完成途中の作品も多い。生徒の達成感を考え3学期も続行することも配慮に入れる必要がある。

英語で制作したことに関しては、最初は生徒からの不満の声が多かったが、制作している間に、英語ならどのように書くか考え、翻訳サイトで調べてわかった時はうれしそうにしていたのが印象に残った。また、サ

ーバに公開すれば、実際に誰かから反応があるかもしれないというのは、モチベーションをかなり高める。英語力の向上に関しては、短い文章が多いのが目立つ。英作力が向上したかは疑問が残るが、自分の Web ページに関してよく出てくる単語は覚えたようである。また興味深いことは、生徒の Web ページのタイプはおよそ2種類に分かれた。日本の文化を英語圏の人に伝えようとする Web ページと英語圏のことを日本人に伝えようとする Web ページである。この2つのタイプに当てはまらない Web ページもあるが、生徒が誰を対象に Web ページを作ろうとしたか熟慮できている結果ではないだろうか。

指導計画書

| | |
|-------|---------------------------|
| 時 間 | 8時間目（7～8時間目中） |
| 対 象 | 私立B高等学校 高校2年生（特進/特進理系コース） |
| 場 所 | 情報処理教室 |
| 主 題 | Web ページ制作を用いた英作文・課題制作 |
| 資料・用具 | パソコン 『情報A』実教出版 |

1. 目標 課題制作し完成させる。
自己評価・グループ内評価
アンケート
単語力・ライティング力調査
2. 指導計画 Web ページが完成していないグループはある程度まで完成させる。
グループ内評価、他のグループの作品を見る。
3. 展開 評価の方法を知り、グループ内評価・他グループホームページ評価。
4. 準備 メモ帳・Internet Explorer
5. 対象クラス 特進/特進理系コース
6. 使用資料 1時間目に同じ

4～7時間目は主に生徒中心の作業となるので一括して表にする。

| | 学習内容 | 学習指導 | 留意点・資料等 |
|-----------------------|-----------------------------------|--|--|
| 導 入 25 分 | Web ページ完成・提出 単語力・ライティング力 調査 | 単語力調査 ライティング力調査 | 情報の成績の参考 にはしない。 不正行為の注意 |
| 展 開 20 分 | グループ内評価・他グル ープホームページ評価 | グループ内評価・他グループホー ムページ評価を行いながら、自分 の反省点・グループの反省点を見 出す。 | 2 学期評価の参考 になるので真剣に に取り組むことを 注意する。 |
| ま と め 5 分 | 2 学期授業の総まとめ 3 学期へ目標 | 課題の総合評価 3 学期の授業予定の説明 | |

7. 反省・評価： 全てのクラス、全てのグループで提出時間まで課題を制作していた。
そのために、アンケート・単語力テスト・ライティングテストをかなりの
の生徒がやっていない様子だった。結果が正しく出ない可能性がある。

今回の課題を全体的に見ても、多くの生徒が積極的に取り組んでいた。

「英語」と「情報」同時に2つの教科をこなすことは生徒には負担になったようだが、グループで分担作業をしたので、ひとりに対してはさほど大きな負担ではではない。

英語力に関しては、翻訳サイトを使ったから英語力が伸びないという生徒がいる一方で、翻訳サイトを使ったから新しい単語や文章を知ることができたと、意見が分かれた。翻訳サイトの使用方法は今後の課題と思われる。英語のサイトから直接コピーしてままであるものや、翻訳サイトの英訳を貼り付けた作品も目立つ。これは Web ページの体裁を気にして、本当に自分の英語力で伝えたいことを考えていない上に、英語力が伴っていないことを示唆する。また、前の授業で著作権の説明をして、アップデートできないことを伝えていたが、自分たちの作品が完成しても他に見てもらえないので残念がっていた。最後に、生徒の質問が非常に多かった全ての授業をとおしても、常に質問への対応に追われていた。Web ページ制作ソフトを使用せず、タグで制作をしたことも考えられるが、自分達でインターネットで調べたり、本で調べることがない。1人の教員で45人の生徒の対応は難しい、英語や情報の教員のTTが必要である。